

新宮山彦ぐるーぷ第1826回

持経宿 薪小屋ブロック基礎・お堂屋根再点検

及び炊事場天井張りなど

◇実施日：平成27年07月21日(火) 曇時々小雨

◇参加者：根木俊明、生熊敏男、川島 功、梶野照雄。 計4名。

台風11号(17日)の豪雨により白谷林道は、支谷から流入した土石をジョレン等で均し通行可能となったが、乗用車での通行は部分的に厳しい状況になっている。

当初、川島車で荷を減らして持経宿へ入宿する計画であったが、根木さんからステンレス浴槽を第2雨水槽に設置するための角材鉄アングルを持参積込みたいと連絡があり、長い物は積み込みないだろうと連絡する。その後、沖崎宅で作業に行く段取りを話している、俺のRV車なら積めるだろうとの事から、生熊さん根木車に乗せて貰い、沖崎宅で沖崎車に乗換え、川島宅に立寄ることになる。

後座席の1席を倒して、約1.5m角材鉄アングル4本他と洗濯済毛布でほぼ満車へセメント1袋(25kg)と工具類を積込む。

白谷林道ゲートから西牟婁森林組合が間伐材搬出地点迄は、既に重機で路面が整備され走行に支障がない。尚。本日の搬出作業はなし。

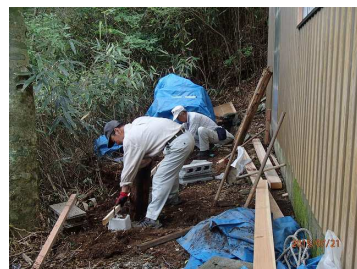
此処(4km)から持経宿までは、重機による路面整備がされていないので、ゆっくり走行し持経宿に9時半過ぎに到着。

積込んだ荷を降ろし、洗濯済毛布3人分は、毛布棚に戻す。未洗濯毛布(27枚)は、棚から出し洗濯に持帰る。

宿裏の薪小屋新築(L360×W150E)の為、12日に束石を据えたが、本日は束石間にブロック基礎打ち作業をする。

束石間をツルハシ・スコップでブロック1枚高さに掘り、バラスを入れ丸太で突き固めブロックを据えるが、宿建屋の平トタン

の突起に間柱が当たらないように、レベルを合わせるのに一苦勞しながら据える。尚、梶野氏は、作業を始めた頃に到着し、15日に塗装仕上げして運搬した食台2脚と未脚の食台2枚に自製アルミ脚を取り付けて食台4脚を完成させる。



改築の持経宿玄関

ブロック据付作業中

休憩後、本日の作業者

下北山村駐在の岩元森林官が、持経宿から奥の林道工事現場を視察に行く途中に立寄られる。工事作業者は、池郷林道工事箇所の上に車を止め、そこから持経宿奥の工事箇所に行き、作業に行っているとの事。又、池郷林道工事は、斜面の積上げ工事が略林道高さ迄積み上がった、小さい車なら通れそうであり、中村組・責任者に尋ねて下さいとのこと。

梶野氏は、食台完成後、炊事場の垂木に、切れ端の野地板を捜し集めて、天井張りを下さる。

ブロックと半端材の型枠を据付けた時点で昼食。前回同様気温20℃と涼しいが、アブが増えていて、うっかりしていると刺される。

昼食後、生コンを2回煉りブロック基礎固め作業は、14時過ぎに終え、三叉路に仮置いた旧材から使用可能な柱・桁材の有無確認に行く。期待した旧玄関上の取替桁は、切られ腐朽もあり使用出来る柱・桁材が無く、新規に調達(10.5cm角×3m;6本)

する必要がある。

その後、お堂屋根の裏側トタン3枚を剥ぎ、その下のルーフィングをめくり、野地板、垂木の状態を確認した結果、野地板・垂木はトタンの無かった約L40cm、W50cm以外は、板もきれいで問題が無かった。但し、垂木下の化粧ベニヤ板は、全面取替要。従って、トタン・ルーフィングを剥ぐり、不良箇所のみ補修し、新規にルーフィングとトタンの葺き替えで良いと判断した。

残材の胴縁が足りれば、現在の野地板上に打ちたい。又、破風板も取替えたいが、最終判断はトタンとルーフィングを全面剥いだ時点としたい。

紅茶で休憩後、梶野氏は池郷林道工事現場に立寄り帰宅することから、お先に持経宿を発ち不動トンネル・西山経由で帰新。



天井板に切り端材切断 ブロック基礎完了

作業終了!

今回、白谷林道路路面が荒れているだけに、沖崎RV車の借用は本当に助かった、御礼を申し上げたい。

次回行事は、25日(土)〜26日(日)を予定したが、台風12号の影響がある予報になっている。更に、白谷林道が荒れない事を願いたい。

行動タイム

新宮 7:00 → 白谷林道ゲート 8:50 → 9:35 持経宿 → 12:00 昼食
12:50 → 持経宿 15:40 → 16:20 白谷林道ゲート → 18:05 新宮。

(記 川島)